

# 4月1日から市で建築の確認ができます

## 新設の建築指導課のしごと

今まで県で行っていた「建築確認」や「建築許可」等を市が取り扱うことになりました。

市では、4月1日から特定行政の開設により市庁舎4階北側に都市整備部「建築指導課」を新設して市民サービスの向上をはかると共に、市の特殊性に見合った住みよい、まちづくりをめざすことになりました。

この建築指導課のしごとは

- ◆建築確認申請書の確認や建築設備の審査、あるいは建築現場の調査
- ◆建築基準法にもとづく許可や認可
- ◆建築についての指導や相談
- ◆建築物の地震対策についての相談  
なお、今まで市には建築主事を置いていなかったが、4月1日から建築主事を置いて建築基準法にもとづく建築確認や建築許可等を行うことになりました。電話は内線287番です。

### 保育課は

#### 3階の北側に移りました

建築指導課の新設によって現在市庁舎4階にある「保育課」は4月1日から3階の北側に移りますのでお知らせします。電話番号は、内線310番から314番までです。

## 自然食品のアンケート調査

### 消費生活「あけぼの会」が活躍

食品添加物や残留農薬などに対する不安が高まる中で、消費者の間では自然の成分をそこなわない食品に人気が集まっています。

市消費生活モニターOG「あけぼの会」(稻葉正子代表、会員36人)では、その手始めとしてこのほど天然、自然食品に対する市民意識調査を実施、この結果を発表しました。

この調査は、会員を通じ市民400人を対象に行われ、91% (364人) から回答がありました。問い合わせの「自然食品に対するあなたのイメージ」は、「加工度が少なく、自然に近い食品」と答えた人が全体の27.3%、「添加物を使っていない加工食品」だと答えた人は20.7%、「食品公害の危険がない安全な食品」が16.9%、そして「完全な自然のままの食品」と答えた人が10%となっています。

また「買ったことがある食品」は

のべ450点にのぼり、中でも、みそ、しょう油、海草類は20代から60代を通じて上位にランクされています。

そして、人気のある食品のベスト10は、みそ(62人) ショウ油(52人)



海草類(45人) はちみつ(23人) めん類(23人) ラーメン(22人) 塩(20人) 菓子類(16人) 酢(14人) ジュース(12人) となっています。

価格については「安い」又は「妥当だ」と答えた人が25.9% (58人)

に対し「高い」と答えた人は実に46.9% (105人) もありました。このほか「自然食品を敬遠する理由」は、364人中38.5% (140人) が敬遠しており、その主な理由は「自然かどうか疑わしい」と答えた人が36.4% (51人) 「関心がない」人は19.3% (27人) などとなっています。

「あけぼの会」ではこのアンケート調査と並行して、市内を始め静岡沼津市内の大型店4店、スーパー2店、一般小売店9店の計15店から調味料16点、菓子類10点、海草類5点など、のべ100品目を購入しての調査も行いました。購入商品には、それぞれ天然、自然のほか健康、純粋、純正などの表示がつけられ、内容量がバラバラで価格も高く、またワカメやコンブゴマなどの商品はどうして自然、天然などの表示をしなければならないのか多くの疑問が出ました。

今後はこの調査の内容分析や添加物検出テストなどの独自の調査を重ね、消費者サイドから自然、天然食品の定義づけをし公正取引委員会や農林省などへ問題を提起していくことになっています。